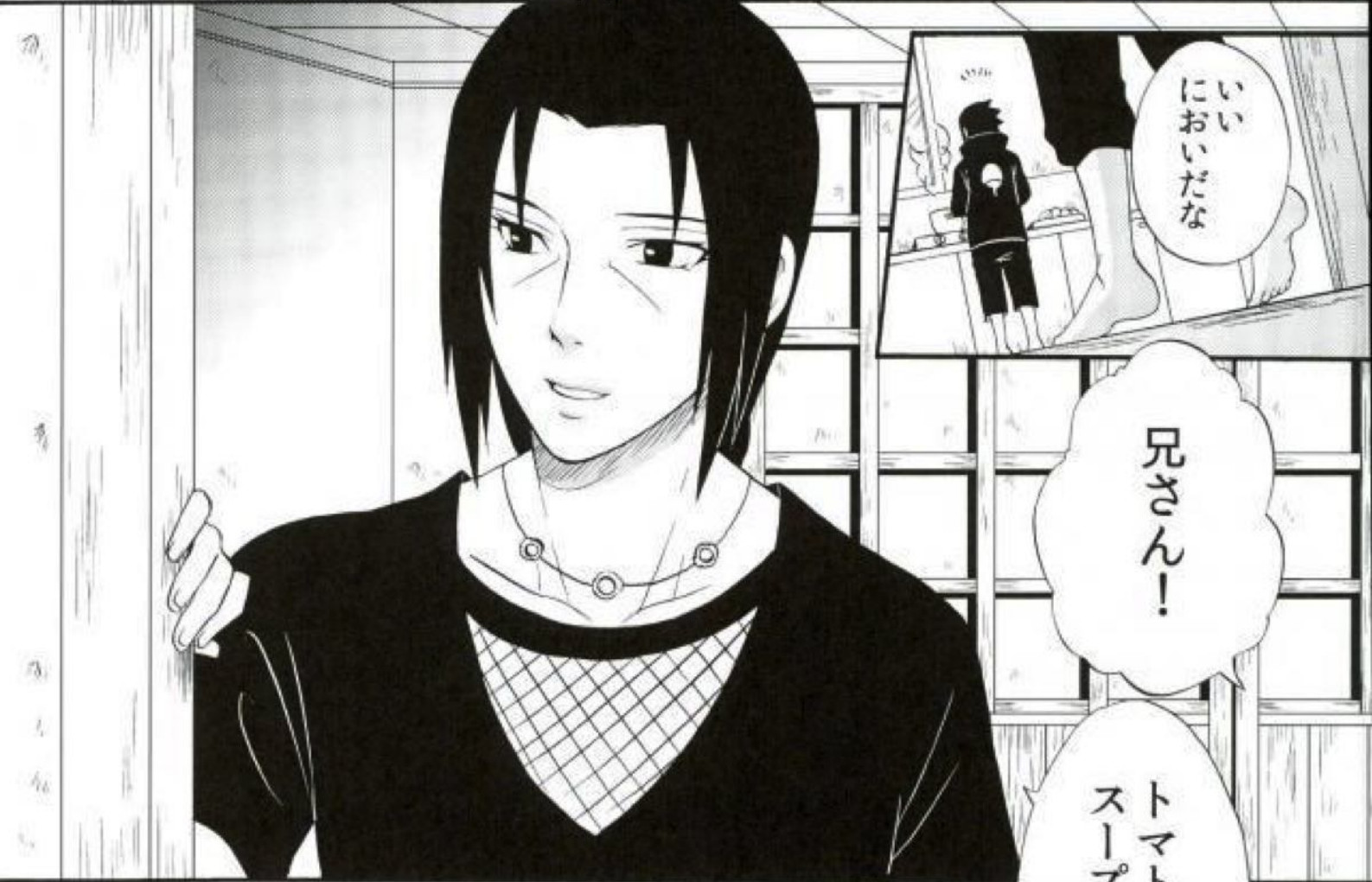




旅路の果てに







ヤケドは  
してないな

半年前——

よかった…



ナルトとの  
死闘の  
あと——



この眼で  
世界が  
どう見えるか

何より

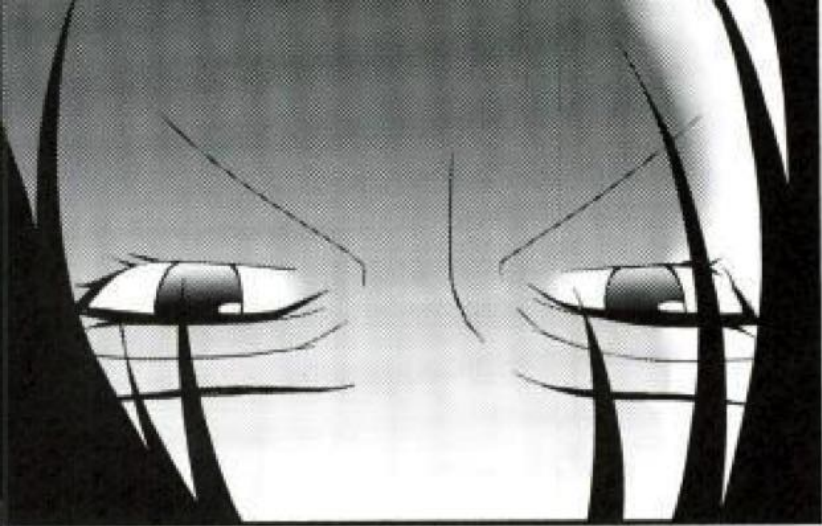


オレは  
旅に出た









今の私では  
これが  
精一杯……



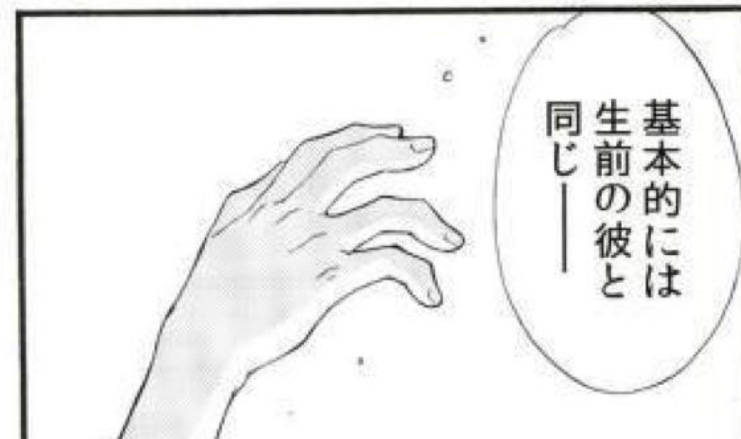
オビトの眼の  
コレクションが  
無事で  
よかつたわ

おかげで  
だいぶ  
再生できた

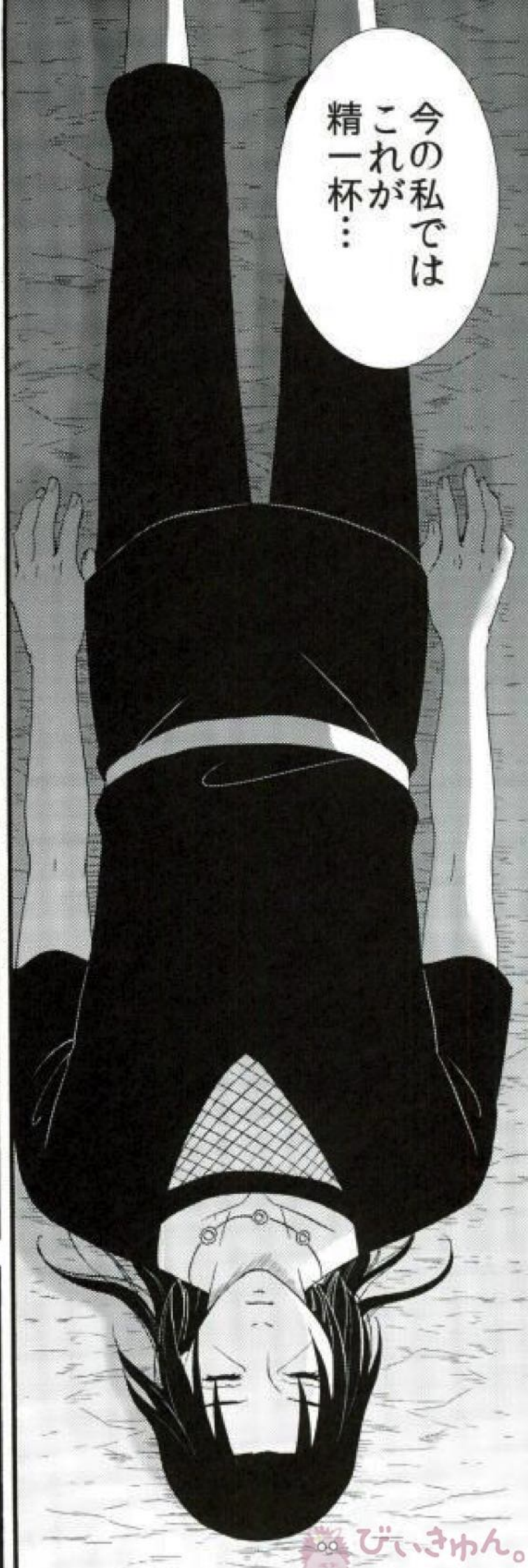


もちろん  
魂は  
イタチ  
そのものだし……

身体は  
イタチの  
細胞から  
造り上げたもの  
だから……



基本的には  
生前の彼と  
同じ——





サ…



スケ…？



に…

………



同じ…



いや…



何故  
オレは  
ここに…？

穢土転生は  
止められ  
なかったのか？



ぬくもり…





アンタの  
守りたかったものは  
ぜんぶ…

無事だよ…



…  
それでも  
なさそうだ

お前の  
その腕…

それに  
その眼…

これは…



大蛇丸…?

生きてる  
だけでも  
いいじゃない

この平和な世で  
一緒に  
過ごすといいわ

でも…

今の私の  
力では…

この術の  
効果は――

カチャ...

ん...

上達したな  
サスケ

野菜ばっか  
じゃなく

肉も  
ちやんと  
食えよ

邪魔するよー  
サスケ!

食料  
持って来て  
やったぜ!

パタン



山奥の  
この家も…



音隠れ時代の  
大蛇丸はガツポリ  
稼いでたからね

がめつく  
貯めやがって  
少しは使った方が  
いいんだよ!



悪いな  
お前達…

気に  
すんなって



ありがとう…



香燐…

うっウチは  
べつに…!!



サスケが  
住んでた家に  
似てるのを

香燐が  
見つけて  
くれたんだよね



サスケが…



……



うっウチは  
べつにサスケの  
ためとかそんなつ

水月も  
ありがとう…

重吾も  
ありがとう…



いいなら  
ボクは  
かまわないけど

あの術の  
効果は…

でも…

もって  
あと1年  
なんだろう？



次の紫陽花が  
咲く頃には  
彼は  
塵と消える…



ああ  
これは…



何やってるんだ  
兄さん？



それでも  
いい

それでも  
いいなら…



アンタと  
一緒に

いられる  
なら――



もうすぐ  
お前の  
誕生日だろう？

こんな物しか  
作れないが……



ピッタリだぜ  
兄さん！

後ろに刀を  
差せるように  
してあるからな



サスケ……



ああ

胸のここに  
うちはの家紋  
入れてもいいか？





木ノ葉の  
医療忍術で  
治せると聞いたぞ

兄さん



お前の  
腕…

そのまま  
いいの？



これは…  
オレの  
罰だ

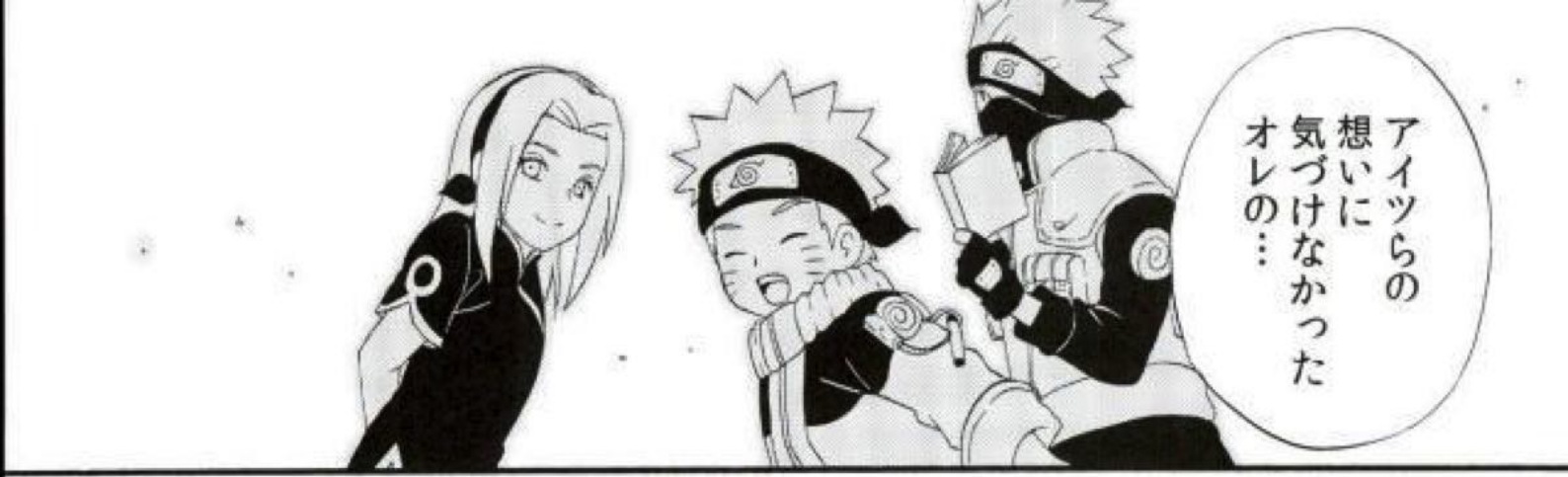


木ノ葉を  
赦せなかつた  
オレの…



スル…

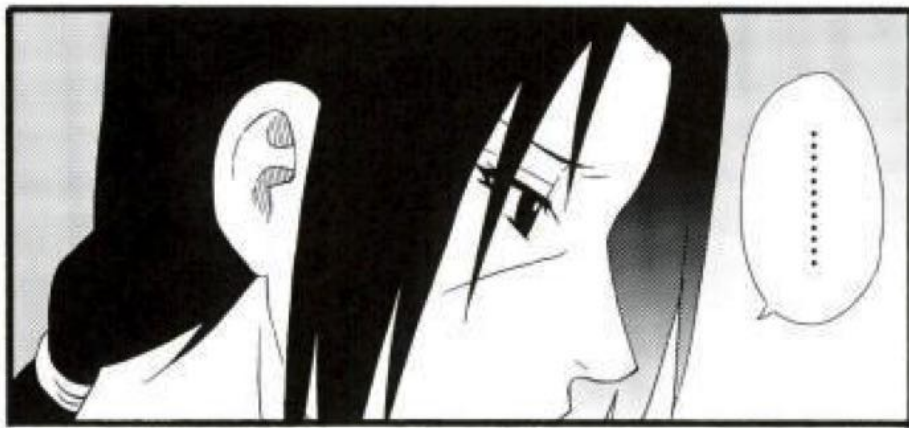
いいんだ



アイツらの  
想いに  
気づけなかった  
オレの…



そして…



………



あなたの  
真実に  
気づけなかった  
オレの…



！  
るせー…



代償が  
腕一本とは…

高く  
ついたな





痛かった  
だろう？

サスケ…







痛くなんか…

ねーよ…



埋める  
ように...

幼い頃の  
隙間を



背が伸びたと  
思ってたな...

だいぶ...



何だよ?

いや...



アンタなんか  
追い越しちゃうん  
だからな!



そうだろ?

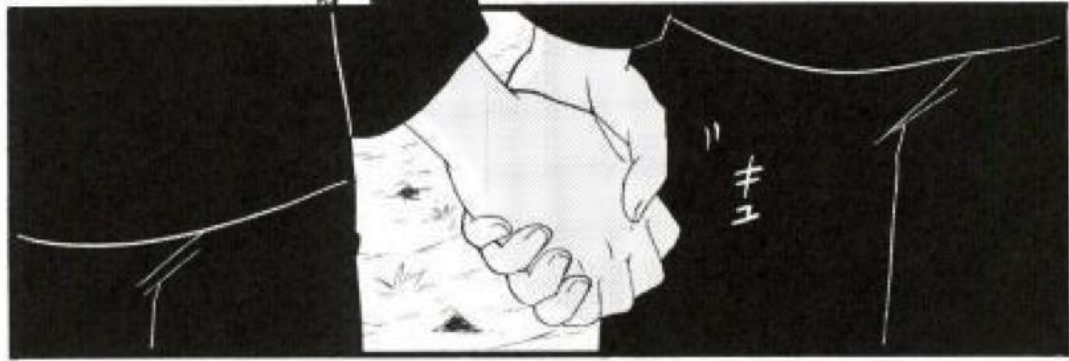
見てるよ  
すぐに...



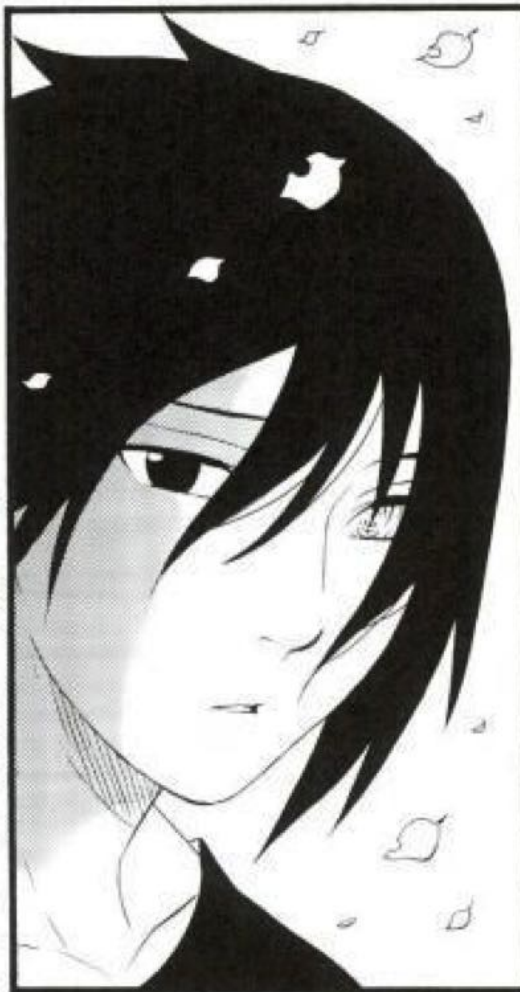
そ...



残された  
時を



噛みしめる  
ように…



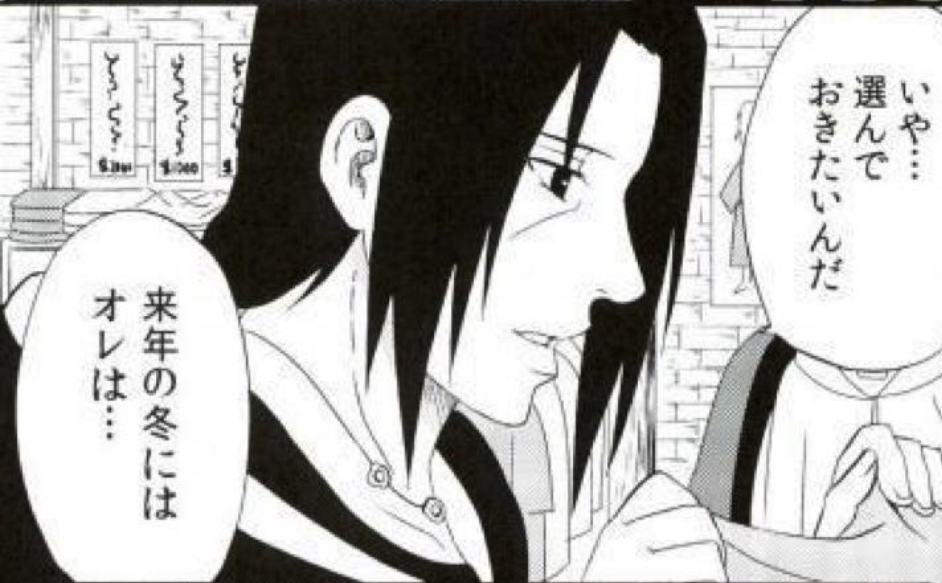
明日は…





そろそろ  
寒くなってくるから  
外套を  
そろえないとな…

今のままで  
いいぜ



いや…  
選んで  
おきたいんだ

来年の冬には  
オレは…



街まで  
行ってみるか？

ギョ  
ギョ




ドン


あ…

すまない


ううん！



あれ？  
お兄ちゃん  
その目…




悪魔の  
目に  
似てるね！



知らないの？  
世界を  
ぶっ壊そうとした

うちはつていう  
悪の一族が  
いたんだよ！



なるにつていう  
すごい人が  
やっつけて  
くれたんだって！



わかっている



すべて  
納得した  
はずだ

それ  
なのに――

オレの中の  
どす黒い  
憎しみは  
まだ――

中身は  
まだまだ  
子供だな

図体ばかり  
でかく  
なっても……

言っただろう？  
うちはという名は  
あくまで血統や  
所属だと……

やっぱり  
オレは……

アンタ  
みたいには  
なれない

アンタが  
見たかった  
景色を――

見せて  
あげたかった  
のに……







あの時も…

あの時も



オレは…



叶えられるの  
なら—

何度も…

お前を連れて  
行きたいと  
思った



……



こんな世界に…  
お前を残して  
行くぐらいなら…



ナルトの奴が  
止めな  
かったら…

もともと  
死ぬつもり  
だった

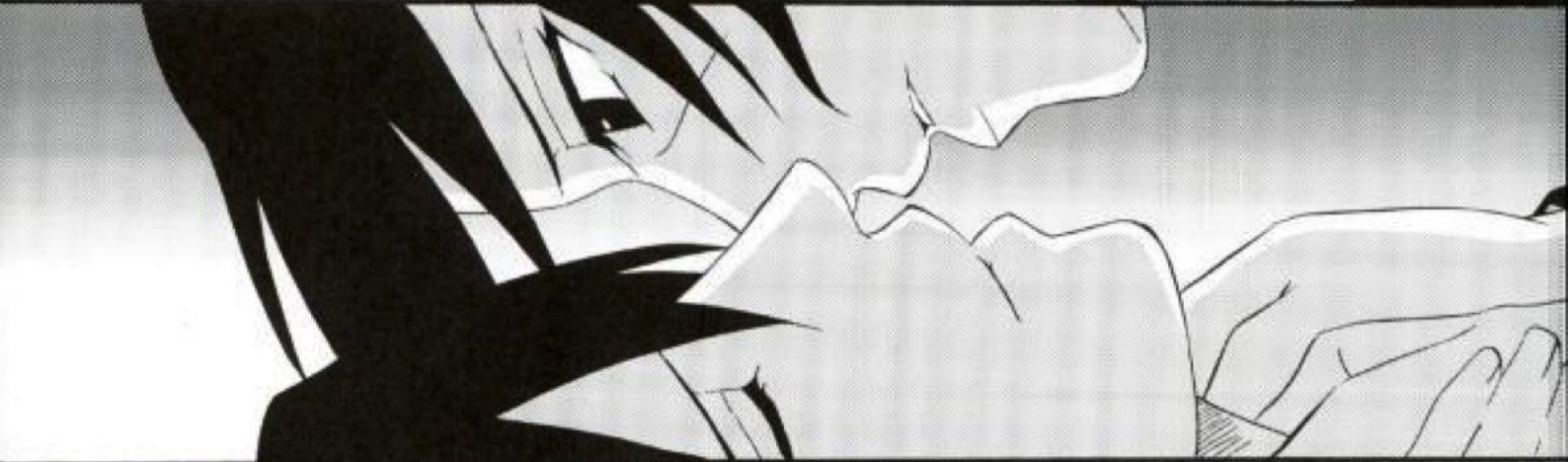


いいぜ…

アンタと  
なら…

今度こそ…

オレも  
連れて  
行けよ…



兄さ…?

それでも…



少しでも  
可能性が  
あるなら…

美しい  
世界を  
お前に  
見てほしい

お前を  
想ってくれる  
仲間と共に…

生きて  
ほしい

オレの  
見たい  
景色は…

お前が  
幸せに  
なる事だ

サスケ…

だったら…

……

アンタは  
どうなんだよ…

アンタの  
幸せは…!?

………

オレはもう  
とつくに  
幸せだ

お前の  
兄に  
なれたし…

お前の  
その言葉が  
聞けた  
からな…

やっぱり  
オレは…

でも…

アンタ  
みたいには  
なれねえ…

それが  
アンタの  
願いなら…



オレは…



